

## 1. 具体的な目標と評価

## 1) 安全で質の高い看護を提供する。

抗がん剤の安全な投与管理について、がん化学療法看護認定看護師の指導を受けガウン、ゴーグルマスクの着用を徹底し抗がん剤曝露予防に努めた。骨髄移植では、受け持ち看護師が中心となり医師と共に移植前にカンファレンスを全例実施し、移植前後の治療・看護について情報共有を行い、患者が安心・安全に骨髄移植が受けられるよう配慮した。

## 2) 病院運営・経営に参画する。

病棟 1 日平均患者数 43.7 人 平均在院日数 21.5 日 病床稼働率 95.1% 病床利用率 91.1% 重症個室稼働率 100.3% 特別室稼働率 97.4% であった。病棟 1 日平均患者数は目標に届かなかったが、病床稼働率は 90% を上回っており病院経営に貢献できた。

4 月に鋼製小物の紛失が 2 件あり、病棟内で対策立案カンファレンスを実施。夜勤リーダーが個数のチェックをするだけでなく、使用后コンテナに入れる際に使用者が確認しサインをする方法に変更することで、以降の鋼製小物の紛失を 0 にすることができた。

## 3) 患者の視点に立った医療安全を推進する。

金庫薬の管理は勤務交代時にリーダー同士がダブルチェックし、鍵をリーダーが管理し、金庫から出した薬は銀のバックに入れて持ち歩く等手順が徹底できている。内服薬紛失防止のため、薬袋は専用の箱に入れ、病棟クラークがシュレッターにかけることで薬の紛失を防ぐことができた。

手指消毒剤の使用量が増えており、手指消毒回数の増加がみられた。針捨てボックスを持ち歩くことが徹底され、採血時や末梢確保時の刺傷事故はなかった。

## 4) 専門職としての能力開発に努める。

患者の転倒防止への意識を高めることができるよう転倒防止カレンダーを改訂し、スタッフの患者指導の統一化を図った後、使用前と使用開始後のアンケートを実施し研究を行った。改訂した転倒防止カレンダーが患者に浸透し積極的に使用され、転倒防止への意識の向上につながった。

学会認定・臨床輸血看護師の研修に 1 名参加し、資格を取得した。

## 5) 看護の先輩として学生の指導に携わる。

CE 中心に学生グループで学生の状況をつなげていった。振り返りの時間に学生が困っていることに対してミニカンファレンスをもうけ、課題を学生グループで解決できるよう促した。

## 6) 活気ある職場、元気の出る職場づくりを推進する。

超過勤務が平成 30 年度に比べ増加している月もあるが、年次休暇は 9.15 日/人取得している。(昨年度比 +4 日) スタッフ間での協力体制や配慮により子育て中のスタッフも勤務の継続ができている。

PNS の正しい知識が不足していることにより、協力・補完体制が定着していない。PNS 委員を中心に勉強会を実施し PNS の正しい知識と方法を身に付けていくことが今後の課題である。2019 年度は離職者が多くスタッフの疲弊を招いたこともあり、2020 年度は風通しの良い病棟づくりを推進するため、①お互いが指摘し合える関係を築く。②相手を尊重し適切な言葉遣いができる。③コミュニケーションを密にとることを目標に取り組んでいきたい。

## 2. 病棟運営状況

表 1 令和元年度 病床運営状況

收容可能 病床数(床)	診療科名	月平均		平均在院 患者数(人)	平均在院日 数(日)	病床利用率(%)	病床稼働率 (%)
		新入院患者数(人)	退院患者数(人)				
47	血液内科	65.3	58.7	43.7	21.5	91.1	95.1
重症加算病床		有料個室		無菌室		死亡者数 (人)	
病床数(床)	稼働率(%)	病床数(床)	稼働率(%)	病床数(床)	稼働率(%)		
1	100.3	2	97.4	23	93		28

## 3. 看護体制

表 2 令和元年度 看護体制

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制
35	PNS®	3:3

## 4. 看護統計

### 1) 重症度、医療・看護必要度

表 3 令和元年度 一般病棟 重症度、医療・看護必要度 I

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準を満たす患者割合(%)	41.1	41.1	42.1	37.3	33.5	28.6	28.6	29.7	29.5	32.7	30.6	25.1	37.3

### 2) 部署データ

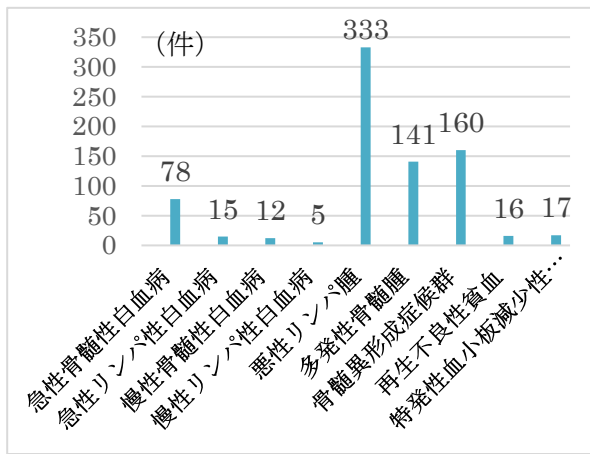


図 1 令和元年度 主要疾患患者数

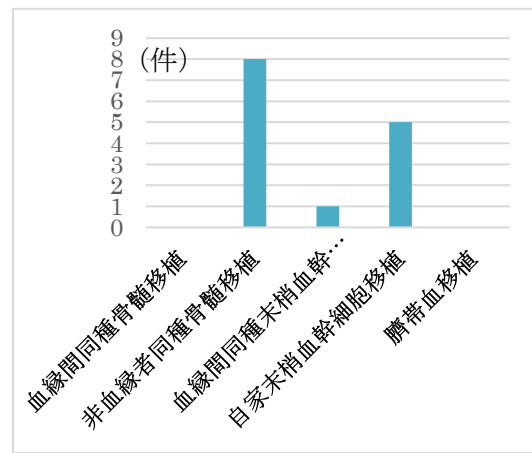


図 2 令和元年度 移植種類と件数

表 1 令和元年度 化学療法件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
330件	270件	287件	281件	310件	318件	337件	352件	321件	302件	309件	300件	3717件

表 2 令和元年度 輸血件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
239件	180件	146件	161件	213件	150件	146件	147件	179件	132件	135件	118件	1946件

表 3 令和1年度 骨髄移植件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2件	2件	0件	1件	0件	2件	2件	0件	2件	0件	1件	1件	15件

## 5.研究業績

### 1)看護研究発表・研究会発表

発表演題名	発表者	学会名	開催地	開催日
退院支援専任看護師と病棟看護師の 退院支援に対する介入状況と課題 —協同して退院支援を行うために—	渡邊綾佳	中国四国地区国立病院機構・ 国立療養所 看護研究学会	東広島	2019年9月7日
8B病棟における転倒防止カレンダー のテンプレート導入の効果 —転倒防止カレンダー活用方法改訂 による患者の意識変化—	東加奈子	院内看護研究発表会	院内	2020年2月8日